

平成25年度経営協議会における学外委員からの意見と本学の対応状況(平成26年 3月26日現在)

[平成24年度第5回 平成25年3月29日][平成25年度第1回 平成25年6月10日][平成25年度第2回 平成25年10月8日]  
 [平成25年度第3回 平成25年12月25日][平成25年度第4回 平成26年2月5日]

意見交換等における意見

議題	学外委員からの意見	本学の対応状況
<p>東京海洋大学の 将来構想の検討に ついて</p>	<p>(9・3学長メッセージ(学内向け)について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織論を論ずる場合、現在又は将来足りないものを書いたほうが説得力が出てくる。</li> <li>・用語の定義を整理して明確にした方が良い。</li> <li>・産業との結びつきを表現するため「イノベーション」の観点も表現すべきである。</li> </ul> <hr/> <p>(教育研究分野について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわゆる理工学系海洋分野の中でも分野横断的な学際的な取り組みが必要である。海洋政策が組み合わさることで世の中のニーズに応えられるのではないか。</li> <li>・異なる分野の融合を重視すべきである。</li> <li>・リベラルアーツ教育をしっかりと行うべきである。</li> </ul> <hr/> <p>(組織構成について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新組織を作るにあたり、既存組織をどう整理するのかを明確にすべきである。</li> <li>・現在の組織も新たな現代的課題に取り組むために必要である。</li> <li>・組織間の横の連携がとりやすいように留意すべきである。</li> <li>・統合により実が上がった点、上がっていない点を将来計画委員会等で議論していただきたい。</li> <li>・教育・研究活動の柔軟性が増すことを期待する。</li> </ul>	<p>経営協議会における意見を踏まえ、将来計画委員会を中心に将来構想の検討を行った。</p> <p>(9・3学長メッセージ(学内向け)について)</p> <p>検討に当たっては、24年度に定めた「将来構想の方向性」をもとに、学長のリーダーシップにより本学の機能強化を実現するための将来構想案を提案する「9・3学長メッセージ」を作成、学内に発信し、各学系の教員に対する説明会と意見募集を行った上で、将来計画委員会で検討を行った。また、その後も本学の状況や将来構想案の具体的な内容などについて、随時各教員への説明会を開催した。</p> <p>(教育研究分野、組織構成について)</p> <p>「9・3学長メッセージ」において提案された組織構成案について、学長の諮問機関である経営企画室大学改革検討チームを立ち上げ、実現可能性等について検討を行った上で、将来計画委員会において検討を行った。さらに組織構成の在り方を中心に、経営企画室大学改革検討チーム(推進検討)を再編成し、経営協議会での意見を踏まえて検討を行った。</p>

(社会的要請について)

- ・新海洋基本計画が策定され、人材養成も必要となっているので、組織改編を検討する良いタイミングである。
- ・社会的要請がキーワードのようであるが、海洋大として考える社会的要請について、しっかりと説明できるよう取り組んでいく必要がある。
- ・社会的要請は不明確な面もあり、社会の意見を聴く意味での広報体制の責任ラインを整えるなど、組織の形から検討することも有効ではないか。
- ・社会的要請というだけでなく、普遍的なものを追求することも必要である。

(社会的要請について)

社会的要請の把握については、経営協議会の学外委員からの意見の他、海洋基本計画等の政府の計画や政策動向等を踏まえ検討を行った。また、将来計画委員会の下にワーキンググループを設置し、学外有識者の協力も得た上で、企業等に対して本学が強化を考えている分野についての人材需要に関するアンケートを行い、社会的要請の把握に努めた。

今後、学長が委員長を務める将来計画委員会を中心として、更に検討を進め、本学の将来構想について成案を得る予定である。